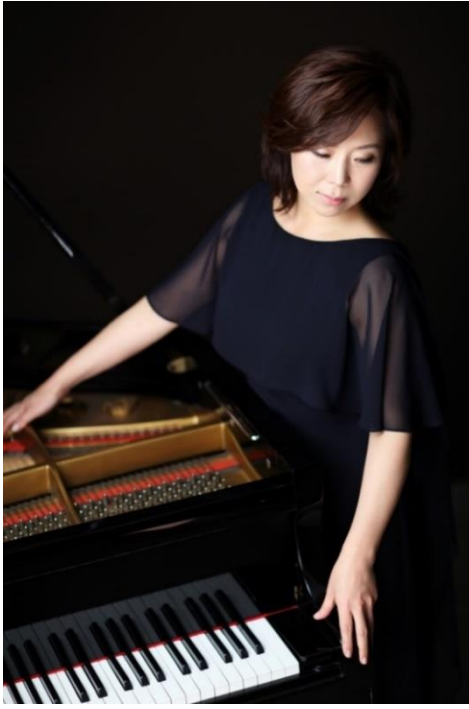


Heyoung Park

ヘヨン・パク



ソウル生まれのピアニスト、ヘヨン・パクは、フランコ・イタリアーノ国際ピアノコンクール、ノルマンディー国際音楽フォーラム(フランス)にて第1位受賞の他、ソフィア国際ピアノコンクールにて、ベートーヴェンのソナタの演奏が評価され、特別賞を受賞。

ヘヨン・パクは、ブリュッセル王立音楽院管弦楽団、カザンフィルハーモニー管弦楽団、ソウル交響楽団などと協演し好評を博す。ラフマニノフホール(モスクワ)やソウル・アーツ・センター、サル・コルトー(パリ)、ウィーンホール(ザルツブルク)での知的かつ表現力に富んだ演奏は、聴衆を魅了した。

韓国の作曲家、尹伊桑(ユン・イサン)を称える統営国際音楽祭での演奏で好評を博す。また、著名なパフォーマンスアーティスト、ナム・ジュン・パイクに対するヘヨン・パクの独創的な解釈は、天才的な音楽形態であり、間違いなく現代音楽における資産である。

偉大なフランス人ピアニストかつ教育者で、アルフレッド・コルトーやフレデリック・ショパンの学校に関係していたジェルメヌ・ムニエは、ヘヨン・パクを、バッハからリゲティまで熟す、多彩なピアニストと称した。

ソウル大学校卒業。ブリュッセル王立音楽院にてディプロム・シュペリールを、パリ・エコールノルマル音楽院ではコンサーティスト高等ディプロムを取得。2005年よりパリ・エコールノルマル音楽院教授。多くの著名な国際コンクールで入賞を果たす才能ある若い生徒たちを指導している。パリや大阪、ソフィア、ロードス、カサブランカ等の国際コンクールの審査員に招聘されている他、大阪国際音楽コンクールのパリとソウル

地区本選の審査委員を務める。

2009年より、パリ・ミュージック・フォーラム協会の芸術監督を務め、パリの韓国文化センターにて、パリのクラシック音楽愛好家のための「サンライジング」と題するコンサートシリーズをプロデュースしている他、パリやソウル、釜山、ウィーンにて、レクチャーコンサートシリーズやマスタークラスを行っている。